

## 【目的】

近年、人への警戒心の薄いヒグマが人里に出没している状況が見られ、また、ヒグマ出没時に出動する熟練した従事者の減少・高齢化により、ヒグマに対応できる人材の確保が課題となっている。これらの課題に対応するため、**比較的安全に捕獲圧をかけることができる残雪期に許可捕獲を行い、ヒグマの人里への出没抑制を図るとともに、ヒグマ対策に必要な人材の育成を図る**ものである。

## 【概要】

■ 許可申請者 市町村を基本（地元狩猟者は関係機関の合意が得られている場合に限定）

■ 捕獲期間 2～5月（残雪期）

■ 捕獲区域

・市町村の区域を基本（複数市町村で共同して広域的に実施することを推奨）

・**人里出没抑制を積極的に行う（穴狩りなど）場合は、許可申請時に「人里に隣接した域」を示した図面を添付**

<人里に隣接した区域の考え方>

市街地・集落もしくは農耕地など(レクリエーション等で人が日常的に利用する森林を含む)**人の生活圏から概ね3～5 km以内のエリア**

■ 捕獲頭数 地域個体群毎に**上限捕獲頭数を設定**

■ 捕獲方法 **銃器**

■ 許可の条件

・**穴狩りは行わないこと（人里に隣接した区域は除く。）**

・上限捕獲頭数に達し、捕獲中止勧告を受けた場合は、捕獲を中止すること

■ 指導事項

・複数名で出動すること

・人材育成のための出動は、熟練者と経験の浅い者が含まれるよう努めること

・事前に入林承認等の手続きを行うこと

・**親子連れの捕獲の自粛（人里に隣接した区域は除く。）**

・事故防止に万全を期すこと

■ 報告

・捕獲した場合は、ヒグマ捕獲票を直ちに提出すること

・捕獲期間終了後、速やかに出動日報を提出すること

■ 捕獲にあたっての協力事項

試料の提出に協力すること

■ その他

人里への出没状況の変化について、効果の検証を行う

# 人里出没抑制等のための春期管理捕獲の概要

## <人里出没抑制等のための春期管理捕獲（2/9～5/20）>

目的：人里への警戒心薄いヒグマに、人への警戒心を持たせ人里への出没を抑制及びヒグマ捕獲技術の伝承

年（残雪期）	許可件数	実施した場所となった市町村数	捕獲頭数
R 5	2 7	1 9	2 0

## <ヒグマ対策技術者育成のための捕獲>

目的：ヒグマ出没時に出動する熟練者の減少・高齢化に対処するため、ヒグマ対策に必要な人材の育成（捕獲技術伝承）

年（残雪期）	許可件数	実施した場所となった市町村数	捕獲頭数
R 4	2 7	1 9	1 7
R 3	2 9	2 5	1 0
R 2	2 9	2 0	8
R 元	2 3	2 0	7
H 3 0	2 8	2 6	8
H 2 9	3 3	2 9	5
H 2 8	2 0	1 9	1 2

- 平成17年度（2005年度）から、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図ることを目的に渡島半島地域保護管理計画に基づき「人材育成のための捕獲」を実施。
- 上記については、平成26年度（2014年度）から、北海道ヒグマ保護管理計画に基づく「ヒグマ対策技術者育成のための捕獲」として継承。
- 平成27年度（2015年度）から、全道を対象として実施。
- 令和5年（2023年）から、人材育成と人里出没抑制を目的に「人里出没抑制等のための春期管理捕獲」として実施。

## 令和5年「ヒグマ対策技術者育成のための捕獲」について

### 【令和5年実施計画】

地域個体群	地域区分	R5実施計画区域（実施意向区域）
渡島半島	渡島半島	島牧村・黒松内町・寿都町【後志】、函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・八雲町・長万部町・木古内町【渡島】
積丹・恵庭	積丹恵庭	小樽市・倶知安町・積丹町・古平町・共和町【後志】、札幌市・千歳市【石狩】
天塩・増毛	増毛山塊	石狩市・当別町【石狩】
	北見山地	滝上町・興部町・西興部村・雄武町【オホーツク】 名寄市・比布町【上川】
	大雪山系	美瑛町・旭川市・東川町【上川】、北見市【オホーツク】
	阿寒白糠	大空町【オホーツク】、標茶町・鶴居村【釧路】
	知床半島	中標津町・標津町・羅臼町【根室】
	根釧台地	厚岸町
日高・夕張	日高山系	占冠村【上川】
	夕張山地	三笠市【空知】

### 【令和5年実施結果】

地域区分	振興局	実施箇所 （「～」は最初と最後の日）	実施 日数	許可 人員	実人 員			延べ 人員		
						うち 熟練	うち 浅い		うち 熟練	うち 浅い
渡島半島	後志	島牧村「2/19～5/14」	28	32	13	4	9	233	76	157
	渡島	八雲町「3/21～4/23」	12	39	28	10	18	98	47	51
		長万部町「3/26～4/30」	6	9	3	1	2	18	6	12
		函館市、北斗市 「3/25～5/20」	25	45	15	2	13	129	25	104
		函館市「3/20～4/30」	6	17	8	5	3	26	17	9
		森町「3/15～4/18」	14	17	6	3	3	32	16	16
積丹恵庭	後志	小樽市「3/26～4/9」	3	35	27	13	14	59	31	28
		倶知安町「3/5～4/23」	6	8	6	2	4	20	7	13
	石狩	札幌市「3/17～4/20」	10	32	27	11	16	46	21	25
増毛山塊	石狩	石狩市「3/26～5/14」	3	14	8	5	3	20	13	7
		当別町「4/8～4/9」	2	9	3	2	1	6	4	2
北見山地	オホーツク	興部町「4/2」	1	35	15	4	11	4	1	3
		西興部町「4/2」	1					5	1	4
		雄武町「3/11～4/2」	3					19	6	13
		滝上町「3/23～4/30」	1	18	8			4	4	8
	上川	名寄市「3/18～3/25」	3	7	2	1	1	6	3	3
知床半島	根室	標津町「3/20～3/30」	5	20	11	6	5	47	29	18
日高山系	上川	占冠村「4/6」	1	8	2	1	1	2	1	1
夕張山地	空知	三笠市「3/24～5/2」	13	2	2	1	1	26	13	13
計		19市町村	143	347	184	75	109	804	321	483

- 実施期間について、令和4年と同様に5月20日までとした。
- 2月19日から5月14日までの期間に、19市町村の箇所を実施された。
- 許可を受けた347名のうち、184名（53.0%）が1回以上参加し、うち熟練者は75名、経験の浅い者は109名であった。参加延べ人員は804名（うち熟練者321名、経験の浅い者401名。昨年より53人減。）であった。

【令和5年捕獲結果】

地域区分	ブロック	捕獲場所	捕獲月日	雌雄別	推定年齢	体重(kg)
渡島半島	後志南部	島牧村	4月2日	オス	7~8	217
			4月9日	メス	3~4	41
			4月11日	メス	5~6	61
			4月21日	オス	9~10	265.5
			4月22日	メス	5~6	67
			4月24日	オス	5~6	124
			5月1日	オス	1~2	36
			5月1日	メス	5~6	77
	5月3日	オス	4~5	83		
	北渡島	八雲町	4月23日	オス	5	80
	渡島南東部	函館市	4月29日	オス	20	300
森町		4月22日	メス	4	73.6	
		5月3日	メス	2	67.2	
5月8日	オス	2	50.8			
天塩・増毛	増毛山塊B	当別町	4月8日	オス	10	200
			4月8日	オス	8	160
日高・夕張	夕張山地B	三笠市	4月22日	オス	3	48
			4月22日	オス	3~4	60
			4月25日	オス	2	35
			5月2日	オス	4	105

- 捕獲結果は、メス6頭、オス14頭の合計20頭（前年より3頭増）であった。親子グマの捕獲は島牧村の1件（上表の黄色部分）のみ。いずれも出グマを捕獲したものであり、穴グマの捕獲はなし。

<参考：過去の実施状況>

年(残雪期)	実施した場所となった市町村数	実施日数	参加者数(延べ人数)	捕獲頭数			1市町村当たりの実施日数(平均)
				合計	メス	オス	
H28	19	147	868	12	1	11	7.7
H29	29	134	840	5	2	3	4.6
H30	26	148	994	8	1	7	5.7
R1	20	91	568	7	1	6	4.6
R2	20	102	698	8	3	5	5.1
R3	25	110	596	10	3	7	4.4
R4	19	137	857	17	5	12	7.2
R5	19	143	804	20	6	14	7.5